

自殺対策事業 ゲートキーパー養成講座のご案内

「かけがえのない命」を守るために、あなたにできる役割があります。

それがゲートキーパーです。

ゲートキーパーとは「命の門番」のことで、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ見守る人のことです。「かけがえのない命を救う」ととても大切な存在です。

○ゲートキーパー養成講座の内容

自殺を防ぐ役割と言うと荷が重い役割とを感じるかもしれません。

ゲートキーパーの役割は、専門の相談窓口につなぐことです。専門的な知識や技術は必要ありません。「気づきのサイン」・「気づきのポイント」・「声かけ、傾聴のポイント」・「専門的な相談先」をお伝えします。

所要時間: 1時間～1時間30分程度

講師: 臨床心理士・保健師等有資格者

費用: 無料

～身近に中高年・高齢者世代の方々がいる方、
高齢者の支援をしている事業所・団体の皆様に
講座をお勧めしています～

✿✿ 講座についての問い合わせ先 ✿✿

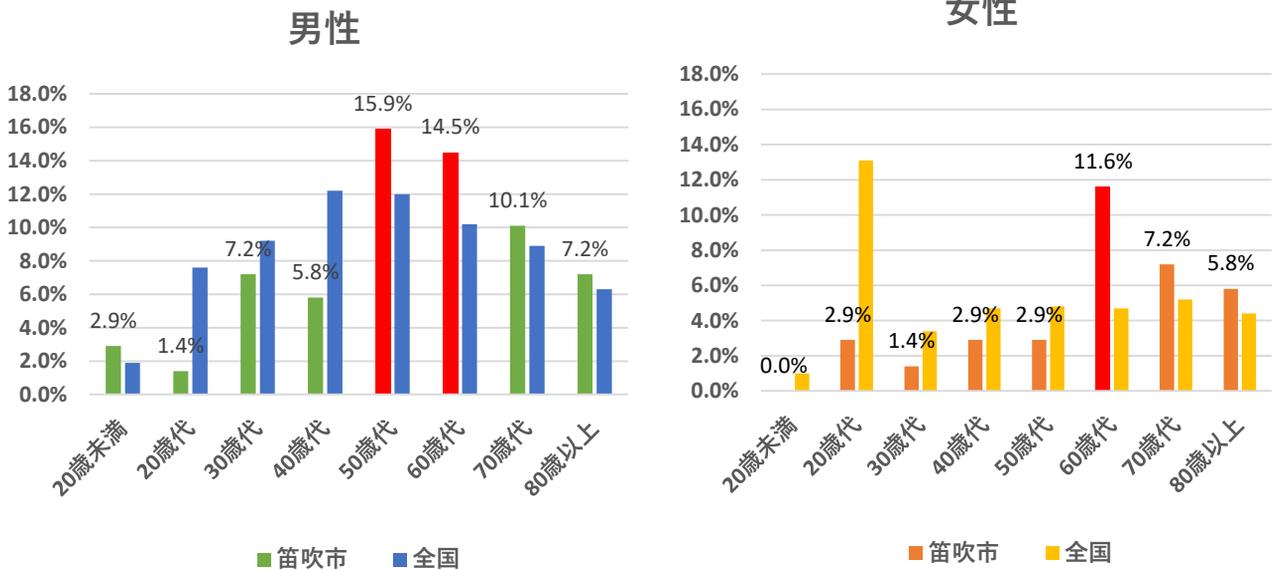
笛吹市 健康づくり課 健康企画担当
電話番号 055-261-5062

笛吹市の現状

◆国・笛吹市の自殺の割合

(平成28年～令和2年 平均厚生労働省地域自殺実態プロフィールから抜粋)

男女別・年代別の自殺者割合から、全国の割合に比べると、本市は男性では50歳代・60歳代の割合が高く、女性では60歳代以降、特に60歳代の割合が高いことがわかります。



◆年代別の死亡原因 死亡原因別死亡順位

(平成29年～令和3年合計 市健康づくり課死亡統計)

平成29年から令和3年までの5年間で年代別の死亡原因をみると、20歳代未満から30歳代の若年層では、死亡者数自体は他の年代に比べ少ないものの、「自殺」が最も多い死亡原因となっていることがわかります。

「自殺」は60歳代まで死亡順位の上位に入っており、各年代で深刻な死亡原因の一つとなっています。この傾向は、平成25年～平成29年から変化がありません。

年代	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上
1位	自殺	自殺	自殺	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	老衰
2位	先天奇形、 変形及び 染色体異常	不慮の事故	不慮の事故	自殺	脳血管疾患	心疾患	心疾患	老衰	心疾患
3位	不慮の事故	悪性新生物	心疾患	不慮の事故	自殺	不慮の事故	肺炎	心疾患	肺炎
4位	乳幼児突然 死症候群		脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	脳血管疾患	脳血管疾患	肺炎	悪性新生物
5位			悪性新生物	脳血管疾患	肝疾患	自殺	不慮の事故	脳血管疾患	脳血管疾患